

令和2年4月27日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
(コード番号: 8732 東証第一部)
問合せ先 財務部長 権代 徹也
(TEL. 03-4540-3804)

2020年3月期連結業績速報値に関するお知らせ

2020年3月期決算短信(連結)につきましては、4月30日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期の連結業績速報値(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2020年3月期 (速報値)	5,872	622	595	249
2019年3月期 (実績)	6,230	1,171	1,181	772
増減率(%)	△5.7	△46.9	△49.6	△67.7

当社グループは、金融商品取引業(外国為替証拠金取引業)を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

上記の速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

2. 前期実績と当期速報値との差異の理由

営業収益は、期初から12月末にかけての外国為替相場の変動率の低下により外国為替取引高が減少したためトレーディング損益が221百万円(△3.9%)減少したほか、システム関連売上高が111百万円(△25.7%)減少したこと等により357百万円(△5.7%)の減少となりました。

損益については、システム関連売上高の減少に伴い売上原価が109百万円(△29.3%)減少したが、販売費・一般管理費が外国為替取引高の減少に伴う変動費減少(主に支払手数料70百万円の減少)の一方、連結子会社の追加による固定費の増加があり全体として292百万円(6.5%)増加したため、営業利益は549百万円(△46.9%)の減少、経常利益は586百万円(△49.6%)の減少となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に投資有価証券売却益168百万円、減損損失150百万円及び投資有価証券評価損49百万円の計上があったこと、当期に基幹システム更新に伴うシステム移行費用80百万円を計上したこと等により523百万円(△67.7%)の減少となりました。

以上